

校の校庭に、なくなりました。その絵の一つは、学
見せていただきました。その絵の一つは、学
校生が被爆者の方のお話をもとにかいた絵も
しいことなんだろうと思います。また、高
なくなるといって、ほとんどの友達がけがを負
たった一日で、ほとんどの友達がけがを負
初めて原爆に対して心から恐怖を覚えました
りだったそうです。私はその話を聞いたとき
友達は、全員が大やけどを負ったりで寝たき
んは広島を離れていたため、助かりました
話です。原爆が落とされた当時、浅野さんは
中学二年生だったそうです。たまたま浅野さ
それは、戦争体験者である、浅野さんのお
中でも、心に残ったことが一つあります。
いて、より詳しく学ぶことができませんでした。
しか学習できなかったことを、目で見て、聞
加したことで、授業の教科書の文字と写真で
私は今回、この広島平和体験学習事業に参
北中学校三年 青山 千寿

広島で得たもの

とふとんにくるまれて並んでいる絵でした。
絵で見るから、ちゃんと「ひどい」「こわい」という言葉がでますが、実際にその風景をまのあたりにしたら、きっと怖すぎて言葉が出ないと思いました。
今回、この経験を経て、戦争の怖さを改めて身近に感じるようになりました。
また、この事業に参加したことで、他の中学校の子とも学年関係なく仲良くなることができました。そして広島の雰囲気や食べ物など、たくさんを知ることができました。
平和のことを改めて考えたり、他の学校の子どもと仲良くなったり、広島を楽しみ学べたりと、楽しく、充実した二日間になりました。
今回学んだことを、これからつなげていけたらいいです。